



マイナー・プログラム履修ガイド

2024

目次

1. 新潟大学のメジャー・マイナー制について

- (1) はじめに…………… 2
- (2) 新潟大学のメジャー・マイナー制とは？…………… 2
- (3) マイナー・プログラムの種類…………… 3
- (4) メジャー・マイナー制を支えるアカデミック・アドバイザー…………… 4
- (5) マイナーを学ぶメリットは？…………… 5

2. マイナー・プログラム履修開始から修了証授与までの流れ…………… 6

3. マイナー・プログラムの履修方法

- (1) 「NICEプログラム履修ガイダンス」…………… 7
- (2) マイナー・プログラムの履修登録…………… 7
- (3) 授業科目の履修登録…………… 9
- (4) マイナー・プログラムの修了認定と修了認定申請…………… 9
- (5) 学務情報システムから修了認定申請を行う方法…………… 10

4. アカデミック・アドバイジングについて

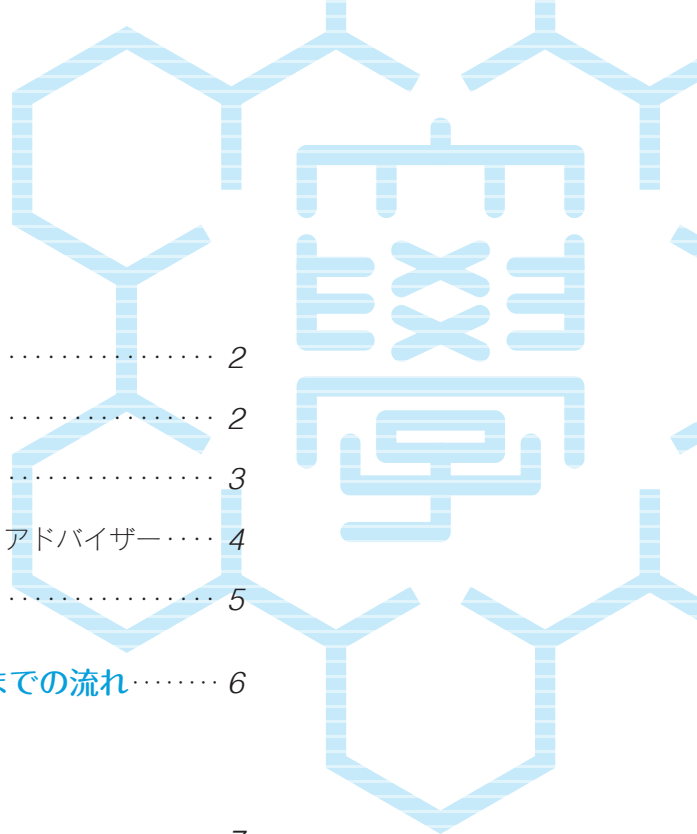
- (1) アカデミック・アドバイジングとは？…………… 15
- (2) アカデミック・アドバイザー（AA）紹介…………… 15
- (3) 「学修相談」相談場所・相談受付時間…………… 16
- (4) 相談予約方法…………… 16

5. よくある質問FAQ…………… 17

令和6年度 マイナー・プログラム一覧…………… 23

メジャー・マイナー重複可否一覧表…………… 24

問い合わせ先・案内図…………… 26



1. 新潟大学のメジャー・マイナー制について

(1) はじめに

皆さんは、自分の興味のある学問を深めようと新潟大学に入学されたと思います。人文科学、社会科学、自然科学、医歯学など、それぞれの学問分野を真剣に学ぶことは、皆さんの知的好奇心を満たすだけでなく、社会に出てからの考え方や行動の核を作っていくことにつながります。

その上でもう少し社会に目を向けてみましょう。たとえば、自治体で行政に携わり、政策を立案するときには、その根拠となるデータを解析する必要があります。企業で技術職・研究職として働き、技術的に優れた製品を開発したとしても、それが必ずしも消費者に受け入れられるとは限りません。ですから、マーケティングやゲーム理論、市場調査の方法を学ぶことも重要になってきます。また、医療現場で働く場合には、当然、高度な知識や技術が求められますが、同時に、相手の人生に想いを馳せ、困難な状況に寄り添うための哲学や倫理学が力になるかもしれません。このように、社会には一つの学問領域だけではとらえきれない事象があります。言い換えれば、たくさんの学びの楽しさに満ちていると考えることもできるでしょう。

新潟大学には、総合大学としての豊富な教育資源があります。そこでわたしたちは、学生の皆さんが、自分の学部の専門分野（メジャー）だけでなく、学部の枠を越えたメジャーとは異なる分野（マイナー）も学ぶことのできるしくみを作りました。また、アカデミック・アドバイザーによるメジャー・マイナー制による学生の学びを支援する体制も整えています。このような取り組み全体を「全学分野横断創生プログラム（Niigata University Interdisciplinary Creative Education Program）」と命名しました。通称NICEプログラムです。

NICEプログラムにおけるメジャーとマイナーの学びを通して、皆さんの大学生活が学びの喜びで満ちたものになることを願っています。

(2) 新潟大学のメジャー・マイナー制とは？

新潟大学の全学の理念は「自律と創生」です。「自律」は自分自身で立てた規範に従って行動すること、「創生」は新たなものを作り出すことを意味します。新潟大学のメジャー・マイナー制はこの全学の理念を体現した、他の大学にはない特徴をもっています。

メジャーとは自分の学部、あるいは学位プログラムで学ぶ専門分野です。マイナーとはメジャーとは異なる分野です。皆さんは入学を希望する学部の試験を経て、新潟大学に入学しました。入学した学部では、2年次にどの学位プログラムを専攻するのかが決まり、卒業に向けて本格的にメジャーを学び始めることとなります。なお、推薦入試による入学者については、入学時に決定している場合があります。新潟大学にメジャー・マイナー制が導入される前は、専攻したメジャーを突き詰めて専門性を深めていくことが一般的で、選択肢が限られていました。メジャー・マイナー制

の導入により、「自律」的にメジャーとマイナーを両立して学ぶ選択肢が増えました。また、メジャーとマイナーの学びを通して得られた分野を横断できる複眼的視点によって、新たなものを「創生」できる資質・能力を得られるようになりました。



上の図は、新潟大学の学位プログラムとメジャー・マイナーの関係性を示したものです。マイナーとして修得した単位数は、大学での卒業認定単位数に組み込むことができるため、無理なくメジャーとの両立を図ることができます。

(3) マイナー・プログラムの種類

マイナーとは、メジャーとは異なる分野を意味します。マイナー・プログラムとは、メジャーとは異なる分野を学ぶための体系性を備えた教育プログラムを意味します。新潟大学では46のマイナー・プログラムを提供しています。23ページのマイナー・プログラム一覧をご覧ください。

マイナー・プログラムの種類は「パッケージ型マイナー」と「学修創生型マイナー」の2つです。どちらを選ぶかによって、マイナー・プログラムとしての修了単位数や科目選択の仕方などが異なりますので、順番に見ていくことにしましょう。

1) パッケージ型マイナー

すでに自分の興味のある分野やテーマが決まっている人向けのマイナー・プログラムです。「パッケージ型マイナー」は、履修すべき授業科目と修了要件が定められています。選択した「パッケージ型マイナー」の修了要件を皆さん自身で確認しながら、科目リスト内の授業科目を自分で計画的に履修していくこととなります。どの「パッケージ型マイナー」が自分の学びたい分野なのかははっきりわからない場合や、「パッケージ型マイナー」での学びをより深めたい場合には、「分野横断デザイン」を受講してください。パッケージ型マイナーの詳細は、NICEプログラムWEBサイト（P26 URL参照）の「マイナー・プログラム一覧」で確認してください。

2) 学修創生型マイナー

「パッケージ型マイナー」と異なり、皆さんが自分で新たに作る事ができるマイナー・プログラムです。皆さんが理解しやすいように、このマイナーの具体的な履修の流れを説明していきます。

最初に「学修創生型マイナー」必修科目の「分野横断デザイン」を受講します。この授業の中で、自らの興味・関心に基づいた探究課題を設定し、その課題解決ができる、または取り組むことのできる資質・能力を養うための授業科目を、12単位以上分を自ら選択し、「マイナー学修デザイン」を作成します。次に、作成した「マイナー学修デザイン」に記載した授業科目を履修していきます。

「マイナー学修デザイン」に記載した授業科目の履修が全て終わった段階で、「学修創生型マイナー」必修科目の「分野横断リフレクション」を履修します。この授業では、「分野横断デザイン」で作成した「マイナー学修デザイン」をブラッシュアップし「確定版マイナー学修デザイン」を作成します。また「確定版マイナー学修デザイン」に記載した12単位以上分の授業科目間の関連性や、各科目の学修成果等を図示した「NICEカリキュラムマップ」も作成します。最後に「リフレクションレポート」で、自ら作ったマイナー・プログラムによる学修成果を示します。

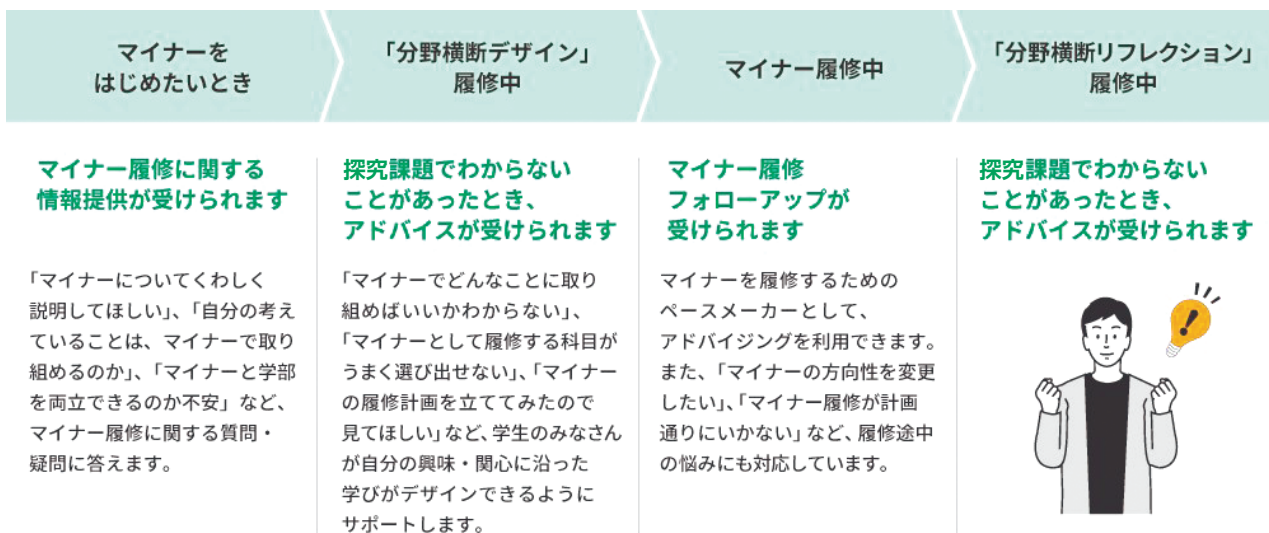
学修創生型マイナーでは、マイナー・プログラムを自ら作る事ができるという皆さんの「自律と創生」を認めるとともに、「分野横断デザイン」と「分野横断リフレクション」という必修科目によって、独自のマイナー・プログラムが新潟大学において認証するに足る質であることを保証しています。

(4) メジャー・マイナー制を支えるアカデミック・アドバイザー

新潟大学のメジャー・マイナー制に興味を抱いた皆さんの中には、メジャーとマイナーの両立やマイナー・プログラム履修の継続など、不安を感じる人も多いと思います。このような不安を解消しながら、より効果的な学修を支援するスペシャリストであるアカデミック・アドバイザーがいます。

アカデミック・アドバイザーは、「分野横断デザイン」や「分野横断リフレクション」を担当するほか学修相談で、学生の皆さんがもっている興味・関心や問題意識をマイナーの学修につなげていくサポートをします。

「学修相談」は、授業期間中の火・木・金曜日の昼休み（11：55～12：45）、3限、4限に、NICEプログラム室（学修相談室）（五十嵐キャンパス・総合教育研究棟A棟2階211室）で開設されています。マイナーの履修について迷ったとき、わからないことがあったときなど、いつでもアカデミック・アドバイザーに相談できます。詳しくは15ページを参照してください。



学内の他部署や教員と連携を取り、学生のみなさんの学びを多面的に支えます。アカデミック・アドバイジングは、「NICE プログラム室（学修相談室）」で受けることができます。

(5) マイナーを学ぶメリットは？

● 幅広い知識・スキルを得られる。

学生の皆さんは、自分の興味のある分野、将来なりたい職業を考えて所属している学部、学位プログラムを選んだことと思います。しかし、必ずしもその分野だけに興味があるわけではないのでしょうか。メジャー・マイナー制を活用することで、学位プログラムで専攻する分野以外に関心のある分野も体系的に学ぶことができます。また、自分とは異なるメジャーの学生と協働する機会も自ずと増えます。そのような学修によって、幅広い知識はもちろん、様々な場面で発揮する思考スキルや課題解決スキル、コミュニケーションスキルなどを得ることができます。

● 企業はメジャー・マイナー制で学んだ学生を期待している。

日本経済団体連合会による「採用と大学改革への期待に関するアンケート」（令和4年1月18日）において、大卒者に特に期待する知識として多くの企業が、専攻分野における基礎知識・専門知識と同等以上に「文系・理系の枠を超えた知識・教養」を求めていることが示されました。新潟大学のメジャー・マイナー制はこの期待に応える教育制度と言えるでしょう。就職活動ではエントリーシートや面接などで、大学で何を学んできたか、何に力を入れてきたのかを聞かれる場合があります。そのようなときに、メジャー・マイナー制で分野をこえた幅広い知識を学んだことをアピールすることができるでしょう。また、マイナー・プログラムの修了が認定されれば、マイナー・プログラム修了証が授与されます。それを就職活動等において自身の努力の成果を客観的に示すものとして活用することもできます。

2. マイナー・プログラム履修開始から修了証授与までの流れ

① ガイダンスへの参加・パンフレット（本冊子）を入手する

毎年、学期始め（4月、10月）にガイダンスが開催されます。ここでは、マイナー・プログラムの履修に関しての大事なお知らせがありますので、なるべく参加するようにしましょう。

また、マイナー・プログラムの科目リストに記載されている科目は、開講状況等により年度によって変更になることがあります。



② マイナー・プログラムの履修登録及び授業科目の履修

まず、各マイナー・プログラムの内容・修了認定要件などを確認してください。その後、履修を希望するマイナー・プログラムの履修登録を行ってください。そのうえで、各プログラムに登録されている科目リストから卒業時までに**12単位**又は**14単位**以上修得することを目指します。



③ マイナー・プログラム修了認定申請と審査（7月、1月）

マイナー・プログラムの修了認定を受けようとする学生は、第2年次第2学期以降、各学期の所定の期間に修了認定に係る申請（修了認定申請）を行わなければなりません。

修了認定申請に関するお知らせを学務情報システムにて通知します。



④ マイナー・プログラム修了証の授与（3月、9月）

修了認定を受けた学生に対して、「**マイナー修了証**」を授与します。

3. マイナー・プログラムの履修方法

マイナー・プログラムの履修の全体的な流れは以下の通りです。

(1) 「NICEプログラム履修ガイダンス」

新学期の始まる時期（4月・10月）に、対面による「NICEプログラム履修ガイダンス」を開催します【令和6年度1学期は、4月4日（木）、5日（金）に開催予定、2学期の開催時期は未定。詳しくはNICEプログラムWEBサイト（P26 URL参照）でご確認ください】。

対面による「NICEプログラム履修ガイダンス」では、マイナー・プログラム履修中の学生や、アカデミック・アドバイザーと直接話ができます。マイナーの学修について興味のある学生は、対面によるガイダンスに積極的に足を運んでください。

なお、「パッケージ型マイナー」の科目リストに記載されている科目は、年度によって変更となる場合があります。そのため、毎年4月に最新の情報を得るよう心掛けてください。科目リストは、NICEプログラムWEBサイトで確認できます。また、過去の内容も、確認することができますので参考にしてください。

(2) マイナー・プログラムの履修登録

マイナーの学修を始めるにあたり、学務情報システムから①マイナー・プログラムの履修登録と、②科目の履修登録をする必要があります。

まず、学務情報システムから履修を希望するマイナー・プログラムの履修登録をしてください。具体的には、[マイナー学修（副専攻）関連] → [マイナー学修（副専攻）履修状況] から、履修したいマイナー・プログラムのボタンを押します。「学修創生型マイナー」と、他のマイナー・プログラムの間で迷っているという場合は、[未定（分野横断デザイン受講後に決定）] のボタンを押してください。

なお、ここで選択したマイナー・プログラムは、毎年、各タームのはじめ（4月・6月・10月・12月）に変更、あるいは履修取り消しをすることができますので、悩んでいる人も気軽に選んでかまいません。どのマイナー・プログラムを履修するか悩んでいる場合でも、必ず履修登録は行うようにしてください。

また、マイナー・プログラムの修了認定申請を行う際、履修登録していないプログラムを申請することはできませんので、修了を目指すプログラムは確実に履修登録してください。

※「未定（分野横断デザイン受講後に決定）」を選んだ人は、「分野横断デザイン」を履修後、次の学期の履修登録期間中に、自分が履修するマイナー・プログラムの履修登録を改めて行ってください。

学務情報システム「マイナー学修（副専攻）関連」履修ボタン操作手順

<<履修プログラムを選択する>>

【1】ホーム画面の「履修」アイコンから、

マイナー学修（副専攻）関連 → マイナー学修（副専攻）履修状況 をクリックします。



【2】履修したいプログラムの「履修」をクリックします。

履修中 が表示されれば、選択完了です。

マイナー学修を履修したい場合は、「履修」ボタンを、取り消したい場合は、「履修中」ボタンを押してください。
オナズ型マイナー（副専攻プログラム）は、複数選択できますが、最終的に認定されるのは1つまでです。

No.	学修創生型・パッケージ型マイナー	No.	オナズ型マイナー（副専攻プログラム）	
1	「学修創生」（自己選択方式）	履修	1 副専攻「環境学」	履修
2	「アグロ・フードアソシエーツ」	履修	2 副専攻「MOT基礎」	履修
3	「ことづくり・マネジメント」	履修	3 副専攻「芸術学」	履修
4	「コミュニティ・マネジメント」	履修中	4 副専攻「外国語（ドイツ語）」	履修
5	「データサイエンスリテラシー」	履修	5 副専攻「外国語（英語）」	履修
6	「ふるさと共創学」	履修中	6 副専攻「外国語（フランス語）」	履修
7	「ジオパーク」	履修	7 副専攻「外国語（ロシア語）」	履修
8	「地域災害環境システム」	履修	8 副専攻「外国語（中国語）」	履修
9	「MOT基礎（特許・経営及び製品開発基礎コース）」	履修	9 副専攻「地域学」	履修
10	「外国語（ロシア語）」	履修	10 副専攻「GIS(地理情報システム)リテラシー」	履修
11	「心理・人間学」	履修	11 副専攻「法学」	履修
12	「社会文化学」	履修	12 副専攻「政治学」	履修
13	「言語文化学」	履修	13 副専攻「経済学」	履修
14	「法学」	履修	14 副専攻「電子・情報科学」	履修
15	「数学」	履修	15 副専攻「統合化学」	履修
16	「物理学」	履修	16 副専攻「医学物理学基礎」	履修
17	「化学」	履修	17 副専攻「学校教育実践」	履修
18	「生物学」	履修	18 副専攻「データサイエンス」	履修
19	「自然環境科学」	履修		
20	「機械システム工学」	履修		
21	「社会基盤工学」	履修		
22	「電子情報通信」	履修		

*学務情報システムの画面は、令和5年度のもので、令和6年度開講のマイナー・プログラムとは一部異なります。

(3) 授業科目の履修登録

NICEプログラムWEBサイト（P26 URL参照）の「マイナー・プログラム一覧」で、各プログラムの修了認定要件や科目リストを確認し、通常の授業科目と同様に履修登録を行ってください。

「学修創生型マイナー」の履修を希望する人、あるいは「未定」の人は、1・2年次に「分野横断デザイン」、3・4年次に「分野横断リフレクション」を必ず履修登録してください。パッケージ型マイナーの中には、本科目の履修が必修となっているプログラムもありますので、該当者は同様に手続きを行ってください。

※科目の履修登録をしないと、その科目の開講情報（オンライン授業のミーティングIDなど）の連絡通知は届きません。必ず初回授業日までに科目の履修登録を済ませてください。

(4) マイナー・プログラムの修了認定と修了認定申請

マイナー・プログラムの修了認定を希望する学生は、**第2年次第2学期以降に、修了認定に係る申請（以降、修了認定申請と表記）**を、特定の期間内に学務情報システムを通して行わなければなりません。要件を満たせば自動的に認定されるというわけではありませんので注意してください。修了認定申請の期間や手続き等の連絡は、学務情報システムを通して行いますので、見逃さずに確認してください。修了が認定された学生には、**マイナー・プログラム修了証**が授与されます。

修了認定の要件

新潟大学のマイナー・プログラムには2つのタイプがあります。それぞれで修了認定の要件が異なります。

・学修創生型マイナーの修了認定の要件

次に掲げる要件をすべて満たす必要があります。

- (1) 分野横断デザイン（1単位）及び分野横断リフレクションの単位（1単位）を修得していること。
- (2) その他教育基盤機構が公示する科目を12単位以上修得していること。
- (3) (1)と(2)の修得単位の合計が14単位以上であること。

・パッケージ型マイナーの修了認定の要件

次に掲げる要件をすべて満たす必要があります。

- (1) 当該パッケージに示された科目を12単位以上修得していること。
- (2) その他当該パッケージが定める修了要件をすべて満たしていること。

	学修創生型	パッケージ型
プログラム開設数	1	45
科目の選び方	自分で選ぶ (自己選択方式)	科目リスト
修了認定単位数	14単位以上	12単位以上
備 考	マイナー支援科目「分野横断デザイン」を受講し、科目リストを含むマイナーの学修計画書を作成する	

修了認定申請の時期と方法

修了認定の要件を満たしたら、第2年次第2学期降に学務情報システムを通して、修了認定申請を行うことができます。

・修了認定申請の期間（予定）

各年度の第1学期6～7月と第2学期12月～1月の1ヶ月間程度を予定しています。時期が近づいたら、学務情報システムを通して連絡します。

・修了認定申請の方法

以下、学務情報システムを通して修了認定申請を行う方法を詳しく説明します。マイナー・プログラムのタイプごとに異なる点がありますので、自身が修了認定申請を行うプログラムについて、よく確認してください。

(5) 学務情報システムから修了認定申請を行う方法

学務情報システムの[履修]アイコン→[マイナー学修(副専攻)認定申請登録]から、マイナー・プログラムの修了認定申請を行います。大まかな流れは、①修了認定申請を行うマイナー・プログラムを選ぶ、②当該プログラムについて必要事項を選択あるいは入力して申請する、という手続きになります。②はマイナー・プログラムのタイプによって異なる手続きになります。

①修了認定申請を行うマイナー・プログラムを選ぶ

留意事項を読み、[申請を開始する] ボタンを押すと、マイナー・プログラムの一覧が表示されます。自身が申請するプログラムを選んでください。

認定を申請するマイナーを選択してください。パッケージ型マイナーにおいて、複数申請したいものがある場合には、一旦1つの申請を完了してから、同様の作業を繰り返してください。

全ての申請が終了したら、「申請を確定する」ボタンをクリックしてください。

申請を確定する 確定日 2023/07/31 11:56:30

No.	オナズ型マイナー (旧副専攻)	申請状態	削除	No.	パッケージ型マイナー	申請状態	削除	No.	学修創生型	申請状態	削除
1	副専攻「専修学」			1	「アグロ・フードアライエーツ」			1	「学修創生」 (自己選択方式)	済	削除
2	副専攻「MOT基礎」			2	「ことづくり・マナジメント」						
3	副専攻「芸術学」			3	「コミュニケーション・マネジメント」						
4	副専攻「外国語 (ドイツ語)」			4	「データサイエンスアナライズ」						
5	副専攻「外国語 (英語)」			5	「ふるさと共創学」						
6	副専攻「外国語 (フランス語)」			6	「シボイタク」						
7	副専攻「外国語 (ロシア語)」			7	「地域災害復興システム」						
8	副専攻「外国語 (ロシア語)」			8	「MOT基礎 (物産・経営次)製品開発基礎コース」						
9	副専攻「外国語 (中国語)」										

なお、パッケージ型マイナーは、複数の修了認定申請を行うことが可能です。また、学修創生型マイナーは、必修科目「分野横断リフレクション」において作成する「マイナー学修デザイン」が修了認定申請の際に重要な役割を果たします。以下では、それぞれのタイプごとに手続きを説明します。

②-1. 当該プログラムについて必要事項を選択あるいは入力 【学修創生型マイナー】の場合

学修創生型マイナーは、学生自身がマイナーの学修をデザインするセルフメイド型のプログラムです。そのため、その名称、学修内容、学修成果、科目リストなど、そのマイナーがどのようなものかの情報は自身で入力する必要があります。そのような情報をまとめたものを「**マイナー学修デザイン**」といいます。

マイナー学修デザインは、学修創生型マイナーの入門科目「分野横断デザイン」と集大成科目「分野横断リフレクション」で作成します。特に、「分野横断リフレクション」では担当教員の承認を受けた確定版マイナー学修デザインを作成し、それが修了認定申請で入力する内容になります。確実に担当教員の承認を受けたものを入力するために、手元に確定版マイナー学修デザインのWordファイルかPDFファイルを用意しておきましょう。

1. マイナー名の入力

確定版マイナー学修デザインの「名称」をコピー&ペーストしてください。

学修創生型マイナーは自身でマイナー名をつけます。「分野横断リフレクション」科目において担当教員の承認を得たマイナー名を以下に入力してください。承認を得たマイナー名と異なるものを入力しないように十分確認してください。

マイナー名 : 自然災害に強い社会形成を目指して

次に進む
(学修内容入力画面へ)

2. 学修内容の入力

確定版マイナー学修デザインの「ねらいと概要」をコピー&ペーストしてください。

学修創生型マイナー 自然災害に強い社会形成を目指して

学修創生型マイナーは自身でマイナーの学修成果を明らかにします。「分野横断リフレクション」科目において担当教員の承認を得たマイナー学修内容を以下に入力してください。承認を得た内容と異なるものを入力しないように十分確認してください。

学修成果

1. 自然災害・防災・社会の関係をハード・ソフト面から理解し、
現行の防災の課題を発見することができる。
2. 災害に関わる個人・集団の心理を把握し、これをもとに防災教

次に進む
(科目リスト選択画面へ)

3. 学修成果の入力

確定版マイナー学修デザインの「到達目標」をコピー&ペーストしてください。

学修創生型マイナー 自然災害に強い社会形成を目指して

学修創生型マイナーは自身でマイナーの学修成果を明らかにします。「分野横断リフレクション」科目において担当教員の承認を得たマイナー学修内容を以下に入力してください。承認を得た内容と異なるものを入力しないように十分確認してください。

学修成果

1. 自然災害・防災・社会の関係をハード・ソフト面から理解し、
現行の防災の課題を発見することができる。
2. 災害に関わる個人・集団の心理を把握し、これをもとに防災教

次に進む
(科目リスト選択画面へ)

4. 科目リストの作成

自身が単位修得済み、あるいは修得予定の科目一覧が表示されます。その中から、確定版マイナー学修デザインの「学修計画」で挙げた科目を選択します。挙げていない科目を選ばないように注意してください。

学修創生型マイナー 自然災害に強い社会形成を目指して

以下はあなたの全修得・履修科目の一覧です。その中から、「分野横断リフレクション」科目において担当教員の承認を得た科目リストから該当する科目を選択してください。担当教員の承認を得ていないものは申請出来ません。また、承認を得た科目と異なるものを選択しないように注意してください。

選択	履修番号	科目名	単位	要点	評価	GP	履修年度・学期
<input type="checkbox"/>	200G0576	アカデミック英語W	1				20-2
<input type="checkbox"/>	200G0611	基礎英語	1				20-2
<input type="checkbox"/>	200G2024	健康スポーツ科学実習 I	1				20-1
<input checked="" type="checkbox"/>	200G7039	心と社会	2				20-1
<input checked="" type="checkbox"/>	200T0008	創造プロジェクト基礎	2				20-2
<input type="checkbox"/>	201G0021	アカデミック英語R1	0.5				20-1
<input type="checkbox"/>	201G0063	アカデミック英語L1	0.5				20-1
<input checked="" type="checkbox"/>	201G1013	外国語ベーシック1-7a (ドイツ語)	1				20-1
<input type="checkbox"/>	201G4260	工学リテラシー入門 (力学分野)	2				20-1
<input type="checkbox"/>	201G5018	物理学基礎B I	2				20-1
<input type="checkbox"/>	201G5035	生物学基礎 B	2				20-1
<input type="checkbox"/>	201T0001	総合工学概論	2				20-1
<input type="checkbox"/>	202G0022	アカデミック英語R2	0.5				20-1

5. 最終確認画面と申請

最終確認画面で申請内容が正しいかどうかを確認し、正しければ【この内容で申請する】ボタンを押してください。これにより、学修創生型マイナーの申請情報が記録されます。また、マイナー・プログラムの一覧画面の学修創生型の申請状況の列に、【済】が表示されます。



②-2. 当該プログラムについて必要事項を選択あるいは入力【パッケージ型マイナー】の場合

パッケージ型マイナーは、パッケージごとにあらかじめ定められた科目リストが存在します。その科目リストと、申請者自身の単位修得済み、あるいは修得予定の科目をシステム側で自動的に照合します。照合された科目と修得単位数（あるいは修得見込単位数）が、申請パッケージで定められた修了要件を満たしているかどうかをよく確認してください。

特別な事情がない方は、申請するパッケージを選択して、最終確認画面へ進み、申請内容が正しいかどうかを確認し、正しければ【この内容で申請する】ボタンを押してください。これにより、当該パッケージの申請情報が記録されます。また、マイナー・プログラムの一覧画面の当該パッケージの申請状況の列に、【済】が表示されます。

以下の内容で間違いがないかどうかを確認してください。間違った、あるいは重複の申請を行うとマイナー認定できません。

	属性区分	開講番号	科目名	担当教員	単位	得点	評価	GP	履修年度・学期
選及		200G3210	ボランティア開発論 I	雲尾 周	2				20-1
選及		200G3707	ボランティア開発論 II	雲尾 周	2				20-2
選及		200G7526	働くことと地域づくり-協同労働の協同組合（ワークスコープ）論-	渡邊 登	2				20-2
選及		201G3206	ダブルホーム活動入門 I	櫻井 典子	1				20-1
重複	B	212G3230	社会とキャリア選択 A（企業人と学生のハイブリッド）	西條 秀俊	2				21-1
重複	C	210G3212	コミュニティ開発論 I	雲尾 周	2				21-1
	C	210G3708	コミュニティ開発論 II	雲尾 周	2				21-2

マイナー科目修得済単位数/マイナー修得見込単位数（履修中含む）	13/13	属性区分	B	2.0/2.0
			C	4.0/4.0



なおパッケージ型マイナーでは、複数のパッケージの修了認定申請をする方や、当該パッケージが開設された年度以前に単位修得した科目を加えたりする必要がある方のために用意されている仕組みがあります。複雑になるので割愛しますが、申請の際にこの仕組みを利用する場合、修了認定申請の説明会やその資料の指示にしたがってください。

パッケージ型マイナーにおける「重複」

パッケージ型マイナーは複数申請できます。パッケージ間で重複した科目の単位は、1つのパッケージにつき4単位を上限として認められます。

パッケージ型マイナーにおける「遡及」

当該パッケージが開設された年度以前に修得していた科目に関して、それが当該パッケージの指定科目に合致するものであれば、8単位を上限として申請に含めることが認められる場合があります。

4. アカデミック・アドバイジングについて

(1) アカデミック・アドバイジングとは？

アカデミック・アドバイジングとは、学生自身の学修目的や将来の目標決定・達成を、継続的に支援することです。NICEプログラムでは、**アカデミック・アドバイザー（AA）**が、「学修相談」というかたちで、学生のマイナー・プログラム履修に関する相談を受け付けています。AAは、学生のマイナーの学びの「伴走者」です。学生は、マイナー・プログラムの履修を始める段階から、修了認定申請に進む終わりの段階まで、何度でも「学修相談」を利用することができます。

【相談の具体例】

- ・メジャー・マイナー制のしくみがどんなものかわからないので、全体的に説明してほしい。
- ・自分の考えていることが、マイナー・プログラムとして取り組めるのか確認したい。
- ・やってみたいことがあるけど、どのマイナー・プログラムを選んだらよいかわからない。
- ・マイナー・プログラムの履修登録の仕方がわからない。
- ・所属学部での学びや部活・サークル活動、アルバイトなどとマイナー・プログラムの履修が両立できるか不安に思っている。
- ・学修創生型マイナーとして、自分の興味・関心をかたちにしたいと思っているが、うまく言語化できない。どんな科目を選べばよいかわからない。
- ・パッケージ型マイナーの履修がうまく進んでいないが、どうしたらよいか。
- ・マイナーとして学ぶことの目標が変わった。
- ・学修創生型マイナーの計画を変更したい／計画通りに進んでいないがどうしたらよいか。

(2) アカデミック・アドバイザー（AA）紹介



柿原 豪 (KAKIHARA, Goh)
教育基盤機構 特任准教授



橋本 紘史 (HASHIMOTO, Hirofumi)
教育基盤機構 特任助教

(3) 「学修相談」 相談場所・相談受付時間

- ・曜日：火曜日、木曜日、金曜日
時間：昼休み（11：55－12：45）、3限（12：55－14：25）、4限（14：40－16：10）
- ・場所：NICEプログラム室（学修相談室）（総合教育研究棟A棟2階 A211）

上記以外の曜日・時間については、NICEプログラム室（総合教育研究棟D棟2階 D205）までお越しください。

(4) 相談予約方法

以下のURLまたは二次元バーコード「学修相談受付票」に、相談希望日・時間等を記入してください。相談日時について、折り返しAAがメールで連絡します。

学修相談受付票：<https://forms.office.com/r/SMh52WqBBM>

メール：kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp



NICEプログラムWEBサイトからも、「学修相談」の予約状況がわかります。

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	6月1日	2	3
		11:55 相談予約 12:55 相談予約		11:55 相談予約 12:55 相談予約 他2件		
4	5	6	7	8	9	10
		13:30 相談予約				
11	12	13	14	15	16	17
09:30 【臨時】相談予約	11:55 相談予約		15:15 相談予約	12:55 相談予約		
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	7月1日
		12:55 相談予約 13:45 相談予約			11:55 相談予約 13:00 相談予約 13:45 相談予約	

5. よくある質問FAQ

始めるときに、よくある質問

Q1 マイナーとは何ですか？

A 所属学部で学ぶ専門分野（メジャー）以外の分野が「マイナー」です。
みなさんが専門の学びと並行して異なる分野を学ぶことで、専門に偏らない、複眼的なものの見方や分野横断的な思考を身につけることができます。

Q2 マイナー・プログラムは必ず履修しなければならないのですか？

A いいえ。マイナーは希望者が履修したいプログラムに登録をして、自主的に学修を進めていく制度です。

Q3 学修創生型マイナーとパッケージ型マイナーの違いがよくわかりません。

A 2つは以下のような違いがあります。

	学修創生型	パッケージ型
プログラム開設数	1	45
科目の選び方	自分で選ぶ (自己選択方式)	科目リスト
修了認定単位数	14単位以上	12単位以上
備 考	マイナー支援科目「分野横断デザイン」を受講し、科目リストを含むマイナーの学修計画書を作成する	

Q4 マイナー・プログラムを修了したら、「証明書」はもらえますか？

A はい。各学期の終了時期に、修了認定申請に関して学務情報システムを使って周知しますので、忘れずに確認してください。

修了が認定された学生には、マイナー・プログラム修了証が授与されます。

Q5 せっかく総合大学に入学したので、幅広くいろんなことを学びたいと思っています。ですが、いざ「分野横断」となると、自分に本当にできるのか自信がありません。

A まずは、「分野横断デザイン」を履修して、自分にどんな方向性があるか探ってみましょう。あわせて、アカデミック・アドバイザーに相談してみてください。

Q6 メジャー（所属学部での専門の学び）とマイナーの両立ができるか不安です。

A 新潟大学の多くの学部では、卒業に必要な単位数（卒業要件単位数）が124単位と定められています。そのなかには「専門教育に関する授業科目」という区分のほかに、「教養教育に関する授業科目」や「教養教育に関する授業科目及び専門教育に関する授業科目」という区分があり、学部ごとにそれぞれ所定の単位数を修得することが定められています。

マイナーとして修得する単位数はこのような区分に含めることができるので、マイナーの学修を選択することで極端に多忙になることはありません。ただし、選択した科目の開講スケジュールや成績評価の方法によっては、両立が難しくなることも否定できません。履修科目を選ぶ際には、シラバスをよく読んで、自分の許容範囲を超えないように学修計画をデザインしてください。

Q7 何の講義からとったらいいのかわかりません。

A まずはNICEプログラム履修ガイダンスに参加したり、このパンフレットを熟読したりするなどして、履修したいマイナー・プログラムではどんな科目を何単位とったらよいか把握しましょう。

それでも何の講義からとったらよいか疑問が生じることがあるかもしれません。そのようなときは、プログラム代表教員やアカデミック・アドバイザーに相談してみるのも有意義です。アカデミック・アドバイザーについては、15ページを参照ください。

Q8 やりたいことがパッケージ型マイナーのプログラムに見つけれません。こうした場合は、学修創生型マイナーを履修すればよいのでしょうか。

A はい。まずは、アカデミック・アドバイザーに相談してみてください。また、マイナー支援科目「分野横断デザイン」を履修してください。「分野横断デザイン」は、「自分のやりたいこと」を具体的な科目選択や履修計画の作成を通して、体系的な学びのかたちを作り上げていく科目です。

履修登録のときに、よくある質問

Q9 マイナー・プログラムの履修開始方法を教えてください。始めるときに申し込みなどが必要ですか？

A はい。マイナー・プログラムの履修開始にあたって、学務情報システムでのマイナー・プログラム履修登録が必要です。学務情報システムの「履修」アイコンから、「マイナー学修（副専攻）関連」→「マイナー学修（副専攻）履修状況」へ進み、履修したいマイナー・プログラムの「履修」ボタンを押してください。これで履修登録完了です。履修登録をすることで、「マイナー学修（副専攻）成績情報参照」からマイナー・プログラムの履修状況や単位修得について確認することができますようになります。

Q10 マイナー・プログラムで履修する科目の履修登録方法がわかりません。

A 通常の科目と同様です。学務情報システムから履修登録してください。
パッケージ型マイナーの場合は、科目リストに掲載されている授業科目の中から、その学期に履修する科目の履修登録をしてください。学修創生型マイナーの場合は、必修科目である「分野横断デザイン」の履修登録をおこなってください。

Q11 マイナー・プログラムの科目リストに記載されている科目の時間割やシラバスはどうやって確認するのですか。

A シラバス検索画面（<https://syllabus.niigata-u.ac.jp/>）からご確認ください。

Q12 マイナー・プログラムの科目はCAP制*に含まれるのでしょうか。

A どの科目をCAPに含めるかは学部によって異なります。所属学部の学務係に確認してください。

* 学期ごとに履修登録できる単位数を制限する制度をCAP制と呼びます。

Q13 マイナー・プログラムの科目は卒業要件の単位に含まれるのでしょうか。

A どの科目を卒業要件の単位に含めるかは学部によって異なります。所属学部の学務係に確認してください。

Q14 マイナー・プログラムを複数履修することはできますか。

A 複数履修することができます。ただし、所属する学部での専門の学び（メジャー）と両立することが重要なので、アカデミック・アドバイザーに相談するなどして大学4年間の学びを計画して、無理のない学修を進めてください。

なお、マイナーの学修は卒業まで続けることができます。

Q15 マイナー支援科目の「分野横断デザイン」や「分野横断リフレクション」は、学修創生型マイナーの履修者だけが対象なのですか？

A 「分野横断デザイン」はマイナー・プログラムの履修を希望している1、2年生が対象です。（学修創生型マイナー、およびパッケージ型マイナー「ふるさと共創学」履修者は必修です）。また、「分野横断リフレクション」は全学部の3年生以上であれば、誰でも履修できます。マイナー・プログラム履修の有無は問いません。

Q16 マイナー・プログラムの科目を正しく履修できているか、また本当に単位修得できているかどうか不安です。履修状況や単位修得状況をチェックできるシステムはありますか。

A 学務情報システムの「マイナー学修（副専攻）関連」ページの「マイナー学修（副専攻）成績情報参照」画面にて履修状況や単位修得状況を確認できます。

Q17 積み重ね履修が可能な科目で修得した単位の取り扱いについて教えてください。

例) 英米言語文化演習を4科目履修した場合など、すべて認定対象となりますか。

A 科目リストの「その他特記事項」欄に記載されていますので確認してください。

Q18 1年生です。マイナー・プログラムの履修を2学期から始めたいと思っています。マイナー・プログラムの履修登録は、1学期にしておく必要がありますか。

A いいえ。マイナー・プログラムの履修登録は、各タームのはじめにすることができます。

Q19 1年生です。マイナー・プログラムの履修登録をしたいと思っています。

すでに科目の履修登録単位数上限（CAP）まで履修登録していますが、マイナー・プログラムの履修登録はできますか。

A はい。マイナー・プログラムの履修登録自体はできます。学務情報システムの「履修」アイコンから、「マイナー学修（副専攻）関連」→「マイナー学修（副専攻）履修状況」へ進み、登録してください。これで登録は完了です。

ただし、すでに履修登録できる単位数の上限まで登録している場合は、マイナーとして履修する科目を追加で登録することはできません。つまり、マイナー・プログラムを履修しているからといって、上限を超えて科目の履修登録をすることはできません。

Q20 マイナー・プログラムの履修登録を第3タームにしようと思っています。第1、第2タームに修得した科目の単位をプログラムの修了要件に含めることは可能ですか。

A はい。含めることができます。

パッケージ型マイナーを履修する場合は、指定された科目リストにその科目が掲載されていれば含めることができます。学修創生型マイナーを履修する場合は、自分の考えるマイナーの方向性と関連づけられるものであれば含めることが可能です。学修創生型マイナーの必修科目である「分野横断デザイン」の履修を通して、関連性を説明できるようにしてください。

Q21 「農学から始めるDXとGX」を履修しようと考えています。科目リストを確認したところ、2022年度に単位修得した科目を見つけました。この単位をさかのぼってプログラムの修了認定要件に含めることはできますか。

A 含めることを認められる場合があります。

「農学から始めるDXとGX」は2023年度に開講されたマイナー・プログラムです。開講の前年度までに単位修得した科目については、科目リストに合致するものであれば、8単位までマイナーの修了要件に含められる場合があります。ただし、同じ科目名であっても、年度によって担当教員が異なっていたり、内容が異なっている場合もあり、全て認められるというわけではありません。詳細は各学期末前に学務情報システムを使って周知しますので忘れずに確認してください。

修了認定申請時によくある質問

Q22 マイナー・プログラムの修了認定申請について時期を教えてください。

A マイナー・プログラムの修了認定申請期間は、各年度の1学期6～7月頃と第2学期12月～1月頃の1か月間です。第2年次第2学期以降に申請できます。学務情報システムを通して申請してください。修了認定申請の開始時期については、学務情報システムを使って周知しますので忘れずに確認してください。

Q23 学修創生型マイナーの場合、修了認定申請をどうすればいいですか。

A 学修創生型マイナーの場合、修了認定申請のためには「分野横断リフレクション」の履修が必須となっています。この科目を履修して、大学でのメジャー・マイナーの学びを振り返り、修了認定申請に必要な「確定版マイナー学修デザイン」を作成してください。

Q24 マイナー・プログラム修了証はいつ受け取ることができますか？

A 修了認定申請後、教務課から認定結果について通知があります。結果通知の次の学期開始日（1学期終了時の申請の場合は10月1日、2学期終了時の申請の場合は4月1日）以降、証明書発行機より各自で発行することができます。

なお、卒業年次学生に限り、卒業日から3月31日までの間、証明書発行機より各自で発行することができます。

Q25 卒業後に、マイナー修了認定申請をすることはできますか？

A できません。

Q26 卒業後に、マイナー・プログラム修了証を発行することはできますか？

A 発行することができます。

卒業日の翌月以降^{*}は、卒業（修了）した学部・研究科の学務係に申請してください。

^{*} 9月卒業の場合は、9月30日に発行することができます。

令和6年度 マイナー・プログラム一覧

■学修創生型マイナー

プログラム名
学修創生

■パッケージ型マイナー

プログラム名	
人文・社会科学分野	心理・人間学
	社会文化学
	言語文化学
	法学
	政治学
	経済学
	ビジネスアントレプレナーシップ
	ドイツ語
	ドイツ語〈発展〉
	英語
	フランス語
	フランス語〈発展〉
	コリア
	ロシア語
	ロシア語〈発展〉
	中国語
	中国語〈発展〉
自然科学分野	数学
	物理学
	化学
	生物学
	自然環境科学
	機械システム工学
	社会基盤工学
	電子情報通信
	知能情報システム
	化学システム工学
	材料科学
	建築学
	生物資源科学・流域環境学
	応用生命科学・食品科学
	保健学分野
学際分野	アグロ・フードアソシエーツ
	ことづくり・マネジメント
	コミュニティ・マネジメント
	データサイエンスリテラシー
	ジオパーク
	地域災害環境システム
	ふるさと共創学
	MOT基礎
	農学から始めるDXとGX
	GIS(地理情報システム)
	医学物理学基礎
	医学物理学基礎〈発展〉
	核エネルギー・災害科学

メジャー・マイナー重複可否一覧表

学部名	学位プログラム名	マイナー・															
		学修創生	心理・人間学	社会文化学	言語文化学	法学	政治学	経済学	ビジネスアントレプレナーシップ	ドイツ語	ドイツ語〈発展〉	英語	フランス語	フランス語〈発展〉	ロシア語	ロシア語〈発展〉	中国語
人文学部	心理・人間学プログラム	A	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人文学部	社会文化学プログラム	A	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人文学部	言語文化学プログラム	A	○	○	×	○	○	○	○	B	B	B	B	B	B	B	B
教育学部	学校教員養成プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
法学部	法学プログラム	A	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
法学部	法曹養成プログラム	A	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
経済科学部	経済学プログラム	A	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
経済科学部	経営学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
経済科学部	学際日本学プログラム	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
経済科学部	地域リーダープログラム	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
理学部	数学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
理学部	物理学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
理学部	化学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
理学部	生物学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
理学部	地質科学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
理学部	自然環境科学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
理学部	フィールド科学人材育成プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
医学部	医学教育プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
医学部	看護学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
医学部	放射線技術科学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
医学部	検査技術科学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
歯学部	歯学教育プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
歯学部	口腔保健福祉学教育プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工学部	機械システム工学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工学部	社会基盤工学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工学部	電子情報通信プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工学部	知能情報システムプログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工学部	化学システム工学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工学部	材料科学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工学部	建築学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工学部	人間支援感性科学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工学部	協創経営プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農学部	応用生命科学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農学部	食品科学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農学部	生物資源科学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農学部	流域環境学プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農学部	フィールド科学人材育成プログラム	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
創生学部	創生学修プログラム	A	C	C	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	B	B	B

A：学修創生型マイナー履修者は教育基盤機構アカデミック・アドバイザー等と相談しながら、自らの学修創生型マイナーを作
 経済科学部の学際日本学プログラム及び地域リーダープログラムを専攻する学生は教育基盤機構アカデミック・アドバイザー
 B：修了申請の際、学位プログラムが言語文化学プログラムの学生、および創生学部において領域学修科目パッケージとして
 C：創生学部生は選択した領域学修科目パッケージと分野が重複するマイナー・プログラムは修了認定申請ができないため、

プログラム名		中国語 〈発展〉	数学	物理学	化学	生物学	自然環境科学	機械システム工学	社会基盤工学	電子情報通信	知能情報システム	化学システム工学	材料科学	建築学	生物資源科学・流域環境学	応用生命科学・食品科学	ヘルス・マネジメント	アグロ・フードアソシエーツ	ことづくり・マネジメント	コミュニティ・マネジメント	データサイエンスリテラシー	ジオパーク	地域災害環境システム	ふるさと共創学	MOT基礎	農学から始めるDXとGX	GIS（地理情報システム）	医学物理学基礎	医学物理学基礎〈発展〉	核エネルギー・災害科学
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

り上げる。
等と相談の上、マイナー・プログラムの選択を行う。
言語文化学パッケージを選択している学生は、マイナー・プログラム代表教員に了承を得る。
教育基盤機構アカデミック・アドバイザー等と相談の上、マイナー・プログラムの選択を行う。

問い合わせ先・案内図

学務部教務課連携教育支援事務室

総合教育研究棟D棟2階

TEL : 025-262-6309

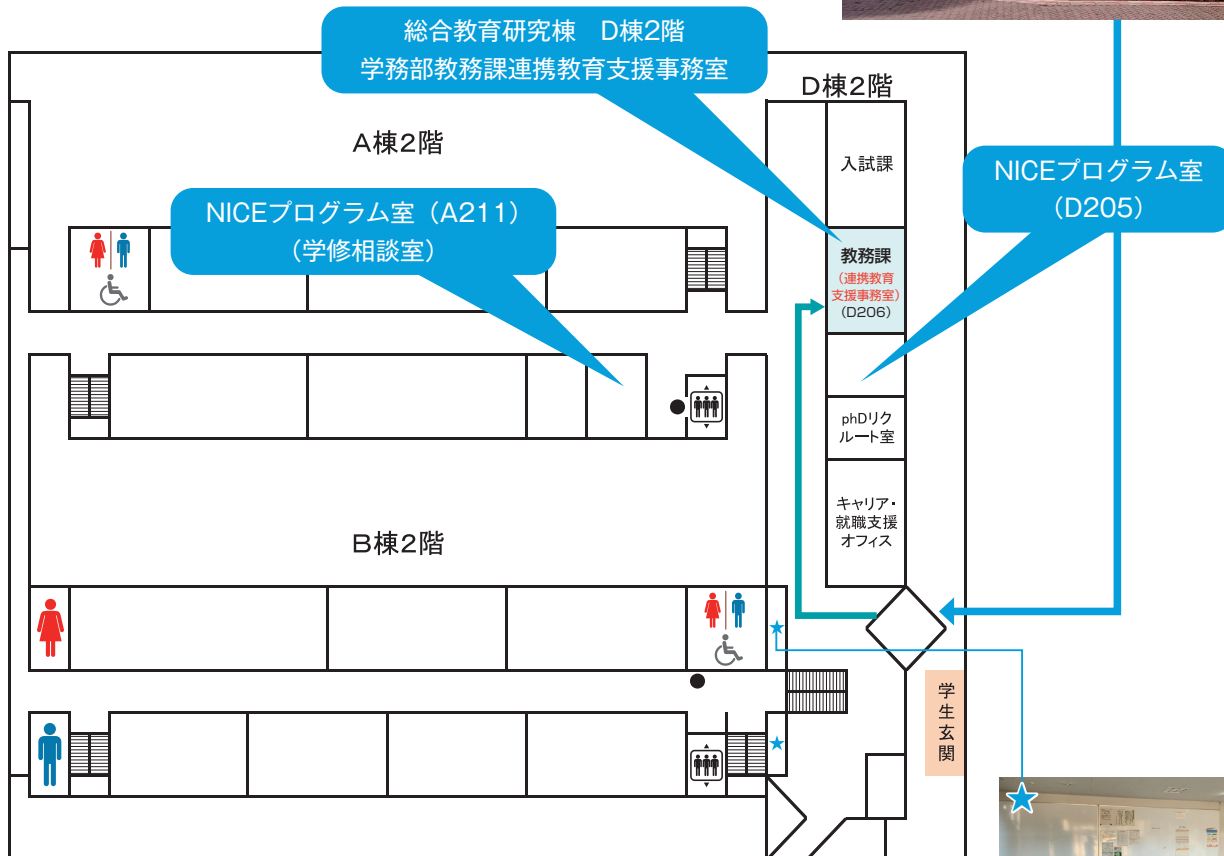
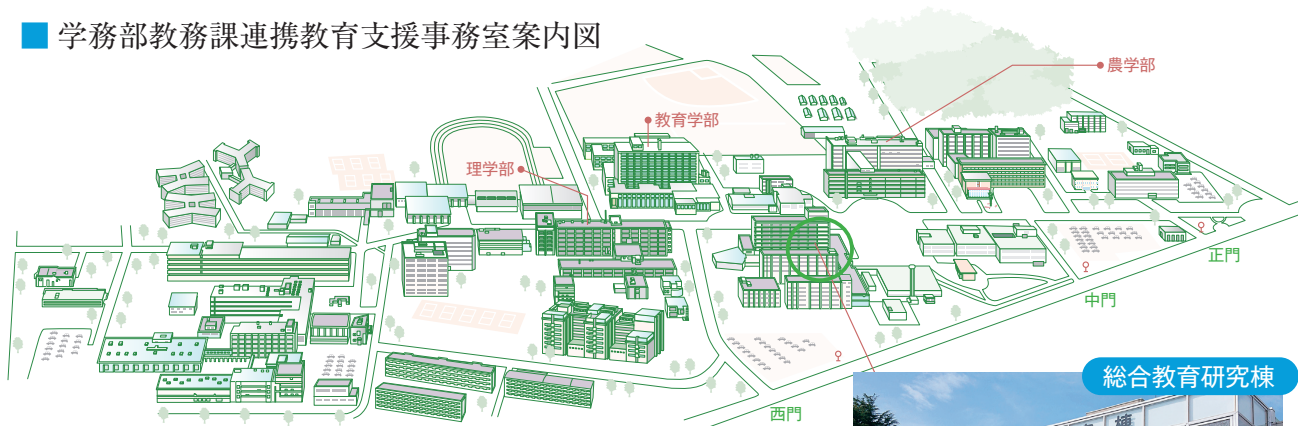
MAIL : kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp

NICEプログラムについて、
くわしくはこちらをご覧ください。

<https://www.iess.niigata-u.ac.jp/niceprogram/>



学務部教務課連携教育支援事務室案内図



★学務部教務課掲示板：総合教育研究棟B棟 2階 学生玄関正面に設置

問い合わせ先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学 学務部 教務課 連携教育支援事務室
TEL (025)262-6309
MAIL kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp

Niigata University Minor Programs

2024